

| 演題名 | 発表者氏名 |
|---|----------------|
| 認知症者の問題行動に対する家族介護者の対応困難についての研究 | 吉川 李奈 |
| みえる身体、みえない機械—新興AIロボティクス研究開発のエスノグラフィ— | 志水 洋人 |
| ヘルスリテラシーに着眼した健康政策の実態—アメリカ・オーストラリア・ドイツの比較より— | 田代 麻有 |
| Developing a meal assistance and oral care training program for caregivers in Indonesia | Lisna Agustina |
| 介護者の精神的健康に影響する要因構造—施設介護者と訪問介護者の比較— | 本松 邦恵 |
| 中高年在留外国人女性向け健康進プログラムの評価—非ランダム化比較試験— | 長松 康子 |
| 外国人看護師と協働するための日本人看護師向け教育プログラムの効果：ランダム化比較試験 | 庄木 里奈 |
| アトピー性皮膚炎の治療としての海水浴療法—子どもへの治療としての歴史— | 笹谷 絵里 |
| ジェンダーの視点から見る、前立腺がん啓発ポスター | 菅森 朝子 |
| 新生児集中治療室（NICU）での経験—家族が語る「想定外の出産」と医療、障害、社会— | 井田 暁子 |
| 災害時の日本在留外国人支援のための災害情報に関する文献検討 | 早野 貴美子 |
| Social Multi-dependence Scaleの開発と検証—「他者を頼ってはいけない」という規範の克服に向けて— | 小野 敬済 |
| ムスリム移民女性の乳がん・子宮頸がん検診受診を促す介入 スコーピングレビュー | アルパ 朱里 |
| ドナー家族が脳死下臓器提供の承諾に至る仕方とその立場—本人の書面による意思表示がない場合— | 米山 順子 |
| 東日本大震災被災地域で暮らすある糖尿病患者の生活—看護部長として地域医療を支えてきた1名の経験から— | 鷹田 佳典 |
| アートがひらく自己超越（セルフトランセンデンス）の可能性—がんサバイバーのフォトコラージュサークルの活動から— | 山田 カオル |
| 「罪深い知」とプロフェッション | 中川 輝彦 |
| 介護現場における異文化間スキーマの相違と表現解釈の比較—日本と中国を事例として— | 張 悦 |
| 在日外国人女性の乳がん検診受診行動—関東在住フィリピン人女性のインタビュー調査結果から— | 佐藤 史歩 |
| 日本で働く外国人看護師の協働実践に関する現象学的研究—臨床現場でのフィールドワークを通して— | 山崎 加奈子 |
| 子を持つ乳がんサバイバーのライフストーリーから探る 病いと向き合い方 | 平井 聡子 |
| 男性型胸壁形成術とその保険適用化が当事者に及ぼす影響について | 渡部 紫秀 |
| 化学物質過敏症患者の「横断-身体性」の経験とその意味 | 鄭 世暉 |
| 病棟看護師が外来で行うその場での解決と継続看護—急性期病院のフィールドワークから（1）— | 西村 ユミ |
| 退院支援カンファレンスのワークの研究—急性期病院のフィールドワークから（2）— | 前田 泰樹 |
| 比喩としての「アレルギー」—新聞記事の分析を中心に— | 桑畑 洋一郎 |
| インクルーシブ教育における合理的配慮の状況—医療的ケア児の家族および重症心身障害者の語りを通じて— | 畑中 綾子 |
| 発達障害者の「擬態」に関する予備的考察 | 高木 美歩 |
| 音楽を言葉にする実践—知的障害者への教示の方法論— | 海老田 大五朗 |
| 診断名の付与による母親のアイデンティティの変化—希少未診断患者Aさんの語りを事例に— | 上野 彩 |
| 医薬品供給不足の構造的分析—なぜ、医薬品供給不足の混乱が長期化するのか— | 赤木 佳寿子 |
| 医療的ケア児の就学を支える看護師の配置と雇用の課題—持続可能な体制構築の検討— | 友松 郁子 |
| 二つの市民権のはざま—カテゴリー、道徳、距離と医学— | 山中 浩司 |
| 摂食障害をめぐる医療者の「回復観」 | 片山 桃子 |
| 支援法施行後の医療的ケア児と家族の生活とQOL | 八木 良広 |
| 地域の文脈で紡がれる「混在的なケア」の展開可能性—富山型デイサービスの新規参入者の語りから— | 三枝 七都子 |
| 生活保護受給者に対する就労支援ケースワーク評価尺度開発 | 高木 貴子 |

| | |
|--|--------|
| 通常の学校で看護師が用いる医療的マニュアルは、成長・発達概念が必要である —A市教育委員会、Bこども病院、C特別支援学校の医療的ケアマニュアルを分析して— | 荻野 貴美子 |
| 幻覚（Hallucination）論におけるA Iと保健医療のEMの交流可能性 —「推論実行機械としての人間」は「意味創造者としての人間」でもある— | 櫻田 美雄 |
| プロデュースされるプロデューサー—病気の体験を表現する人々の相互作用理解における新たな視点の考察— | 杉本 洋 |
| 派遣医師の悩みを共有する場の構築に関する文化人類学的考察 | 井上 和興 |
| シェアサイクルに関する価値意識とwell-being及び精神健康—福岡市及び近郊のシェアサイクル利用者調査より— | 相良 康太 |
| 男性看護職者の言説から見た看護の歴史—1968年の名称改正の過程と現代への影響— | 細谷 陽 |
| 看護師が専門分野教育時に抱く日本語教育の意識—看護師への日本語教育の検討— | 山西 智香 |
| 外国にルーツをもつ発達障がい児/家族へ通訳をする医療通訳者向け教育プログラム開発のためのスコーピングレビュー | 森田 直美 |
| 大学で学ぶ中高年者の健康リスク発見につながるサインは何か？ | 中野 理恵 |
| 睡眠と覚醒のあわい：多彩な症状をナルコレプシーとして引き受ける | 澤田 雅斗 |
| 篤志献体の制度化における「報恩」の原理—人体の資源化と宗教的側面について— | 鈴木 将平 |
| カフェ厨房における障害のある／ないスタッフの協働実践—エスノメソドロジー・会話分析による相互行為の分析— | 水川 喜文 |
| 日本におけるCOVID-19を通じた集団化—プライマリ・ケア医の経験に焦点を当てて— | 飯田 淳子 |